婦人と新社會

山田わか主筆

新年號

軍備縮小と母性保護
――戰爭と國民性――國民の質と母の位置――新國民と母性保護――賃銀制と妻子の生活
婦人の解放と母性――母性保護法と私生兒の母

豫言者の言葉

教育社會學

最新の世界思潮
本能の高尙化――私生兒の幸福と諸國の法律――國民生活と活動寫眞――宗教は死すか――戰爭中の社會進化と革命――最近の社會學に於ける教育

新しい母と舊い母

自己を生かすには

――新刊紹介――

大正十一年一月一日發行　第二拾三號　每月一回一日發行

東京　婦人と新社會　發[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人覺醒の大文字

婦人生活の創造

新刊

一代の婦人思想家として令名高かつた故三角錫子先生は、最も堅實に歩一歩、婦人覺醒の荊棘を開いて行かれました。その豐富にして深刻な生活内容は、到底普通の婦人の經驗の出來ないことであります。本書は共多年の研究と經驗に基いて社會の改革に盡瘁された結晶で、悉く婦人の生活に就て論及されたものであります。

三角錫子先生著

定價壹圓七拾錢　郵税八錢　四六判

内容一斑

現代婦人の内面的生活――デモクラシーと日本の家庭――家族會議――嫁は臺所から婿は玄關から――婦人職業論――人の夫たる男子に――寄宿生の自治に就て――其他

第六感を交へて

三版

理學博士　三宅恒方氏著

定價壹圓八十錢郵税八錢

東京京橋南鍋町　實業之日本社　振替東京二三六番

心のあと

新刊

故理學博士三宅恒方先生の未亡人として、又一代の文豪夏目漱石先生門下の才媛として、婦人の思想界に令高い三宅やす子先生が、現代婦人の覺醒を促すべく鑿錐を揮はれたもの卽ち本書。收むる所論文小品文及び創作三十篇、愛を中心として婦人自らの活くべき道を説かれたやうですから、是非お讀みください。

小宮豐隆先生序

三宅やす子先生著

内容一斑

女性のために――我の婦人の高等教育――生徒百合子夫人に送る――女學校寄宿舍の改造を促す――暑中休暇の宿題に就て――小學校に望む――私の見た女性美――此頃の正月――其他

定價一圓八十錢　郵税八錢　四六判

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新世紀に於ける政治の精神

生活の本義を理解しない子供には生活の方式が必要です、けれども、一人前になつた時には、もう、其の方式は必要でなく、彼の自由意志に任せて置いて差し支へありません。國民が幼稚である時には憲法の成文が必要です。憲法の精神が體得出來ないので、文字に現したものが必要です。けれども、今や、私共は成長した筈です。憲法と云ふ方式によるのでなく、其の辭句に支配されるのでなく、直接に其の精神を把握し得る筈です。其の精神を把握し得て、始めて、私共は眞の自由人に有り得るのです。

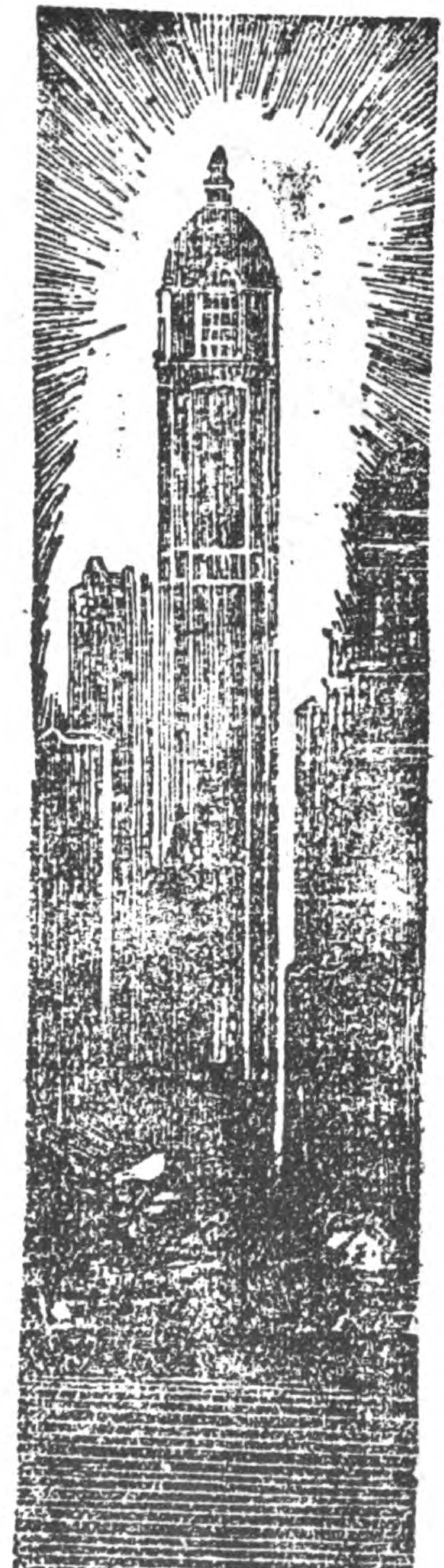
今迄の政治は私共國民が持つてゐるものを、それが智力であれ、金力であれ、腕力であれ、出させようとするものでありました。そして、其れを充分に出させた政治が成功した政治でありました。けれども、持つて居ないものまでもこしらへさせる政治は猶一層進んだ政治です。則ち、新世紀の政治は、如何にせば國民に現に彼等が持つて居る以上の愛國心を起させ現に彼等が持つてゐる以上の租税を拂はせ得るかであります。つまり、平時に於てのみならず非常時に遭遇した時にも有形無形の富源を如何にして豐富ならしむるかと云ふことです。

そして、さうするには一ツの新しい國民の組織を要します。そして、其の組織の中心は國民の共同作用です。云ひ直せば相互化、或ひは社會化を中心として、其處に愛國的精神を蓄積することです。國民が此れを建設した時に理想國家は始めて實現します。

小さい砂つぶが集つて大陸となり、小さい水玉が集まつて大海となると云ふのは半眞理です。其處に凝集力が無ければなりません。そして國民の場合の此凝集力は共同的作用です。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



軍備縮小と母性保護

一、戰爭と國民性

軍備がいよ〱縮少されそうでありますが、これはお互ひ様に誠に喜ぶべきことであります。軍備縮小ではなく、もう一歩進んで軍備を全然撤廢する處迄行くことを人は望みこそすれ、軍備の縮小に反對する人は恐らく無いであらうと私は思ひます。

處で、怒り狂ふ人の手から危際な武器をもぎとると同時に、其の人の心を柔げる必

要があると同じように、軍備が縮小されると同時に、國民性を平和主義に傾けて行く必要があります。

戰爭と云ふものは意見の衝突から起るものであります。そして、其の意見の衝突はどちらかに無理があるのです。そして其の無理は國民の放縱な性質に原因するものでありますから、軍備が縮小されると同時に、國民の其の放縱性を矯める事業が、先づ最大急務であります。

一體、軍備を制限しようとする重もなる理由の一つは、國民の負擔を輕くしようとするものであります。納稅の負擔を輕くして國民の生活を樂にしようとするものであります。けれども、納稅の負擔が輕くなつて、國民の生活が樂になりましても、もし國民の生來の放縱な性質が、依然と昔のまゝであるならば、いつ、又、各國との條約を破るような行動に出て、再び、戰爭をひき起すかも知れませんし、且ッ又、生活が樂になればなる程、生來の放縱性が跋扈して、國民の質は生理的にも精神的にも、却

つて、衰退すると云ふような結果になりませう。

それは、丁度、性的道德が少しも發達してゐないのに、産兒制限、則ち、避姙の實行を許したならば、姙娠育兒と云ふ負擔がかゝつて來る憂へがないために、男女關係は亂れ放題に亂れて、姙娠育兒と云ふ負擔に苦しむ以上に苦しめられる者も出來て來ませうし、從つて、それだけ、又、國民の質の衰退は一層甚しくなると云ふことと同じであります。

實に、戰爭と云ふことは軍艦の數の問題計りではありません。人間の放縱性、無責任な言論、無責任な要求の結果であることを、私達は決して忘れてはならないのであります。西米の戰爭の遠因は何であつた處が、其の近因は新聞紙が事柄を誇張したのであつたと云ふことは世界周知の事實であります。

其の上に、今、實現しようとしてゐるものは、單なる軍備の縮小であつて、軍備の撤廢ではないのであります。殊に、我が海軍力を六割にしろとか、七割でなければな

らぬとか云ふてもめて居りますのは、明らかに、又の戰爭を豫想してゐるものであつて、決して將來に於ける戰爭の絶無を計畫して居るものではないのです。

併し、これは無理のない處かも知れません。なぜなら、何世紀も〳〵の間戰爭の原因となる人間の放縱性は全然放任されてあつて、少しも矯められたことが無いのですから、一朝一夕にして其の性質は消滅するものでもなし、さう云ふ性質が人間にある限りは、其れに對する備へを全然解いてしまうことは出來ないでせう。

二、國民の質と母の位置

其處で、私共が、平和と人類の幸福との増進を希ふならば、いやでも應でも國民性の改造と云ふ處に行かなければならないのであります。そして、どう云ふ風に改造するかと申ますならば、先づ、第一に、私共は一國民として、又、人類の一人として、如何にして社會的に生活すべきかと云ふことを國民の本能に植へ付けるのであります。そして、此の仕事は國民の母の手に待たなければならないものであります。

人間には、言語が必ず必要であると同じように、文明國には、必ず、國民の一致を計る哲學が必要です。古今を問はず、如何なる國にも必ず哲學が生れたのは其の理由です。けれども、現代社會が要求する哲學は今日迄の哲學では間に合はなくなりました。現代の哲學は倫理的哲學でなければなりません。つまり、現代人の生活の方向を示し、現代人の生活に動力を與へるに適した思想でなければならないのであります。

今日迄の倫理の大部分は、いはゞ法律化した宗教でありました。宗教を法律にして人々の行爲を規定して來ました。そして、其の目的とする處は、未來の生活、則ち、死んだ後のたましひの救ひを求めるのでありました。其の上に、現世の生活を呪ふものでありました。さう云ふ消極的個人主義的な倫理でありますから、どうしても、利己的に傾き易くて社會の利益を無視すると云ふようになりがちです。

ですから、昔から多くの人の生活を精選し、貴くして來た宗教の精神は、社會生活が複雜になるに從つて社會意識から、だん〳〵消へてしまいました。日に月に、其の

法律化した宗教は其の勢力を失つてしまいました。そして其の代りに現實主義が全盛になつたのであります。

實に、國民の凝聚力である宗教的倫理は、どうしても新しい倫理的哲學によつて援助されなければならなくなりました。と云つてキャント主義の倫理の如きは非科學的で役に立たないと思ひます。其の證據にはあの大戰爭前の獨逸はキャントの哲學にもルーテルの宗教にも導かれないで、恐しい不道德な野蠻主義を暴露しました。けれども、國民道德の此の衰退は獨逸計りでなく、殆んど、各國の通弊です。そして、我が國も勿論其の仲間であります。つまり、巧みな純科學的な不道德がどん〳〵鼓吹されつゝあるのです。

純科學的な不道德を鼓吹するような人達は人間の生れながらの性質、則ち、本能の力に最大權威を持たせて、『利他主義と云つた處が實は利己主義の一形式に過ぎない』とか、又は、『道理は本能の下僕である。』と云ふようなことを主張します。そして、軍

國主義であつた獨逸が陷つたと同じような墮落の淵へ國民を追ひ込みつゝあります。

人間の動物性則ち本能が、道理、道德、及び宗敎の制裁を受ければ、受けたゞけづつ、其れだけ、人間は野蠻狀態を離れて文明的になるのでありますが、現實主義者が其のかたちは何であれ最大勢力を持つてゐて、そして、國民の本能の跋扈が其の勢ひを逞ましくして居ますならば、たとへ、軍備が縮小されて、國民の負擔が輕くなつても、國民は決して幸福を得ることは出來ません。

其處で國民の動物性、則ち、本能の跋扈を矯正して、社會的生活に適した人間を造るにはどうしても國民の母が其のつもりにならなければ出來ない仕事であります。そして、國民の母が其の國民性の改造と云ふ大事業に當るには母の生活に餘裕がなければなりません。新國民を養成する適任者と先づなつてゐなければならないのであります。

ですから、軍備を縮小したゝめに出て來た金を母性保護のために使用するのが、最

も至當であると私は考へるのであります。

今、軍備は縮小されるのであつて、撤廢されるのではありません。そして、單なる縮小は、遺憾ながら、又の戰爭を豫期してゐるものです。

そんならば、いざ、又、ことが破れた時に、米國では十艘も二十艘も軍艦を造る能力がある間に、我が國では一艘か二艘造る位ひの能力がなかつたならば、どうしますか？ あの大戰爭に米國が參加するようになつた時に、兵隊や軍需品を運搬するために自動車が一ッの會社で一日に二百臺づゝ造られたと云ふことです。

先日も、米國では七分間で軍艦が一艘造られるなどと、新聞紙上で云つてゐた人がありましたが、これは噓かほんとか分りませんが、とにかく、智力の發達した富の豊富な、そして國民に一致共同力のある米國は、やろうと思へばどんなことでも出來るのです。此の點に關しては實に我が國は貧弱であると云はなければなりません。

けれども、どんなに小さくても、貧乏でも國民が生理的に精神的に健全であつて、

そして、一致團決する力が强固であるならば、どんな難關でも切りぬけることが出來ます。

ですから、今後、再び國難が來るものとしても、或ひは、又、平和狀態が續くとしても、いづれにしろ、國民の心身の建全、德義心の增大、智力の發達、科學の進步、經濟力の充實が必要であります。

農作物の健全な發育と其の收穫の充分なのを望むならば、其の作物の苗を健全に仕立てなければならず、苗の健全を望むならば、苗床に注意しなければならないのと同じように、國民の精神的生理的の健全を希ふならば、國民の母の生活の安定を計らなければならないのであります。

今日迄の敎育、及び宗敎の敎へは、苗床で育つた稻を田へ移し植へてから、其の稻の性質を矯正しようとするのみで、苗床、則ち、母の生活と云ふ處には少しも注意を向けずに居たのでありました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

苗床で、苗の性質はほゞ定まると同じように、國民も學齡に達して學校へ送られる前に既でに〳〵其の性質は定まつてしまうものであります。ですから、宗教の教へや教育をどんなに盛んに致しましても、國民の母の生活、乃至、家庭生活が無視されてゐるために、母が窮迫してゐて貪弱で、子供を充分世話することが出來ないで、其のために、やくざな子供や、ねぢけた子供が後から〳〵と學校へ送り出されますならば國民教育の大部分が無駄になつてしまいます。

三、新國民と母性保護

此の頃、兒童保護に關する宣傳が大分あちこちで行はれます。內務省では育兒に關するパンフレットをいろ〳〵編纂して大々的に配付して居りますし、又、兒童保護協會では、兒童保護に關する注意事項を書いたビラを路傍のあちこちへはりました。そして、其の注意事項と云ふのは、子供の安眠を計ること、慈養物を充分攝らせること、時々、動物園や效外へ速れ出して實物教授をすること、子供に惡感化を與へるような

處へは接近させぬこと、などと云ふのでありまして、これは至極尤もではありますが併し凡ての母に子供をさう云ふ風に取り扱はせようとするならば、それだけのことが出來る餘裕を、精神的にも物質的にも母に與へなければならないのであります。

子供に慈養を攝らせたいと思つても、家族の者のすききき腹さへも滿たすことが出來ない狀態にあつたならばどうしますか？　寢心のよいように寢床を造つてやつて、充分に安眠させたり、時々は散歩に連れ出したいと思つても、生活費の足し前を稼ぐために內職をしなければならない狀態にあつたならどうしますか？

ですから、私は、兒童保護と云ふことに社會が目を付けて來たことにも喜びを感じるのでありますが、併し、最非、もう一歩進めて母性保護と云ふ處迄進めなければならないと思つて居ります。

此の度、米國の大統領ハーデングが六百萬弗を支出しようとする母性保護法案に署名したことは、外國のことながら、實に、喜ばしいことであります。

母性保護と云ふことの廣い意味は、男も女も國家も社會も母性の意義を了解し、婦人は自重し、男子は婦人を、殊に婦人の母性を尊敬しなければならない、毎日の家庭生活に於ては勿論、政治、法律、產業、敎育の方面からも、母性の作用が完全圓滑に營まれることを目的として其の施設方針を定めなければならないと云ふのでありますが、これを狹い意味で申ますならば、母の位置にある婦人の經濟上の安定を計ると云ふことであります。つまり、貧乏のために、愛兒を自分の手しほにかけて居られないと云ふような婦人には國家が其の生活費を支給して、そして、安らかに育兒の業を營ませようとするものであります。

四、賃銀制と妻子の生活

子供が殖へれば殖へたゞけづゝ支出が嵩むのは當然です。けれども、今日の場合、日給又は月給の生活者には其の嵩む費用に應ずるだけの餘地がありません。一體、子供が生れると云ふことは自然の過程で、誰でもが承知してゐる事實でありますが、併

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、今日の實際狀態は、其れが急場の出來事であるように、又、家族の豫算の一打擊であるように見られてゐます。

つまり、子供の生活費と云ふものが別にないので、それは兩親の克己忍耐から絞り出さなければならないと云ふことになつて居ます。夫婦二人ぎりであつた時分には衣類の入費が充分あつても、子供が一人出來れば一人だけ二人出來れば二人だけ、夫婦の被服費は減つて行つて、子供が五人六人と云ふことになると、兩親の食費迄も子供の生活費のために削らなければならないと云ふことになります。

多くの經濟學者や社會學者は其の困難を救ふために父の位置にある男子の賃銀の增加を主張します。父の賃銀が安くなると其の反比例に子供の死亡率が高くなつたと云ふことは世間周知の事實です。けれども、父の收入が多くなれば必ず家族の幸福が保證されると極まつて居るものではありません。なぜなら、增した收入が必ず家族の幸福のために使用されるとは極まつて居りませんから。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

多くの人は自分の稼いだ金は全然自分のものであると思つてゐます。一家のうちの夫も妻もさう思つてゐます。ですから、夫一人が稼人である家庭の妻子は全然夫のなさけで生きて居ると云ふかたちになつてゐて、夫が其の金を有益に使用しようが、又は遊蕩に濫費しようが、何とも云ふことが出來ない、つまり、夫であり父である男子の氣持ち次第で妻子の幸不幸は定まると云ふことになつてゐます。此の關係から、女は男よりも劣等であると云ふ考へが生れました。そして、社會は女に其の考へを承認して居れと命じました。女には母性と云ふ障碍があつて、男子と同じようには働けないのだから止むを得ないと申ました。

けれども、婦人は其れを承認しなくなりました。男子よりも劣等な者だと定められたことに大變憤慨しました。男子と同じ職業へ走ろうとしました。これは婦人の非常な努力でありました。同時に、人生に於ける唯一の仕事は金儲けだと心得てゐるような資本家は喜んで婦人を利用しました。婦人の職業は盛んになりました。其の結果同

じ仕事に對しては男女平等な賃金と云ふような要求も出て來ました。

現に、倫敦では、乗合馬車の女車掌が男子と平等な賃銀要求のためにストライキをして立派に成功致しました。そして、此の氣勢はだん〳〵擴がろうとしてゐます。實に、敎育上、政治上の權利、及び經濟上の好機會を得るために歐米の婦人は隨分永い間奮闘を續けて來ました。今猶續けてゐます。

倫敦の女車掌の平等の賃銀要求の運動には男子の乗合馬車從業員も應援致しましたし、勞働組合も亦英國全體を通して男女同じ仕事には同じ賃金を實行する意志を發表致しましたし、（男子が同情したと云ふのは婦人に同情したのではなく、安い賃銀で競爭されるのが恐しいからだと云ふことも見逃がせない事實ですが）又、新聞雜誌も丁度其の頃に始まつた警察こ勤める人達に同情したと同じ調子で、婦人勞働者に同情しました。社會の輿論も勿論女勞働者の賃銀が男勞働者の賃銀よりも安いと云ふのは不正だと云ふことに結着したと云ふことです。婦人に參政權があることも、女勞働者

の非常な強味であつたと云ふことです。

けれども、賃銀問題では各家庭の安定は計られないと云ふことを私共は知らなければなりません。法律上男女平等の賃銀が制定されましても、姙娠保育と云ふ仕事が女の肩にかゝつてゐる以上は、女は男と同じように働くことが出來ません。男と同じ仕事で、男と同じ能率を擧げながら、男と同じ日數を働き通すことは生理上から云つても女には出來ないのであります。

ですから、職業上の男女機會均等や賃銀平等の原則が規定された處が、これは婦人にとつてはカラツポウな勝利であると云ふことになります。

そんなら、男子の最小限度賃銀法を制定すれば解決がつくかと申ますと、これでも解決はつきません。最小限度賃銀法は、一家庭の生活費を標準として賃銀率を定めようとするものであります。則ち、一家庭と云ふものを夫婦と子供三人位ひに見積つて、五人の生活費を基礎として賃銀率を定めようとするものであります。けれども家族の

人數は決して五人と定まつてゐるものではありません。

此の頃、英國のエリーナー●ラスボンと云ふ婦人が『賃銀と家庭の必要』と云ふ論文を發表致しましたが、其れによりますと英國の全部の勞働者の五割二分は子供を一人も持たないし、二割九分は一人か二人しか子供がなくて、そして、たつた一割の勞働者が三人以上の子供を持つてゐると云ふことです。

して見ると、一家族を五人とふんで定めた最小限度賃銀法は、子供を一人も持たない、又はあつても一人か二人の子供を持つた人のためには好都合ですが、五人も六人も子供を持つた人のためには矢張り足りないのであります。そんなら、五人六人の子供を持つた家族を標準にして賃銀を定めるとするならば、それは賃銀を拂ふ方で到底拂ひきれないと云ふことになります。のみならず、賃銀が高くなれば、それだけ、又物價が騰貴しますから、生活の窮迫は矢張り同じであると云ふことになります。

ですから、賃銀問題の解決では、新國民の衰退を妨ぎ其の優良を期すと云ふことは

出來ないのであります。

五、婦人の解放と母性

職業上の男女の機會均等でも駄目ですし、一家の稼人なる男子の最小限度賃銀法の制定でも無產階級の全部が平等に安然に生活することは出來ないのでありますから婦人を經濟的に計りでなく、社會的にも男子に隸屬して居ることから解放するには、婦人の天性に適した仕事、同時に、社會的に重要な奉仕則ち母性の使命を認め、其の使命に對して社會が直接に報酬を支拂ふのが最も安全な、そして、正當な方法であります。

新國民養成の業を營んでゐる母を國家が保護することによつて、母の人格と其の仕事の價値は認められるのであります。新國民の優良を期するために、母性を保護することの可能であること、又、有效であることは英米の政府が既でに〳〵證明しました。

今日のような、物價の騰貴、又は、產業狀態が混亂して、ともすれば、家庭生活が脅やかされる時、恐しい不公平から新國民を救ふには、此の母性保護が最も近道であります。一ツには母の自尊心を保つため、二ツには、次の時代の優良を期するためになります。

社會改造の機運が目前に迫まつてゐる今日、其の改造事業はどうしても此の母性保護から始めなければならないのです。賃銀制度では、家族の大小によつて不公平が出來ますが、母性保護法を適用することによつて、各家庭の一人々々の必要が滿されることになります。

母性が保護され、一人々々の子供の生活が安全であるならば、子供の勞働と云ふことも無くなり、義務敎育の充分なる年限をとることが出來ます。父親の限りある勞銀に頼らなくてもよいのですから。

一言で申ますなら、母性保護は、最も人道的な格言、則ち『各自の必要に從つての

各自への供給』と云ふ、其の格言に接近することであります。

今日迄の婦人論での婦人の解放は、單に、經濟上婦人を解放するのみで、社會上の解放ではありませんでした。それも名計りの解放でありました。けれども、婦人の母性の作用が社會奉仕であると云ふことが認められ、其の保護を受けることによつて、婦人は經濟的にも社會的にも解放され、一人格者としての生活を營むことが出來、同時に、社會は優良な人員の供給を各家庭から受けることが出來るのであります。

六、母性に對する誤想

我が國では乳兒死亡率が諸外國に比較して甚しく高いので、これは憂ふべき問題であるとして、警視廳では內務省衞生局と協力して、其の死亡原因を適確に究はめるために、先づ、東京市內の乳兒死亡原因を此の十二月一日(大正十年)から調査し始めて全市の調査が完了した曉には其の詳細を發表すると同時に新に乳兒の健康を保つ設備を設ける計畫であるそうですが、私は考へます。新しい敎育を受けた婦人逹が家庭の

雜事や育兒の煩しさを厭ひ、他の方面へ其の能力を伸すことに腐心する結果、母としての無資格者が多くなつたのであることを。

なせ、婦人が家庭の雜事や育兒の業を厭ふようになつたかと申ますならば、其の仕事の價値が男子からも社會からも認められないからであります。職業に從事して居れば、一定の時間内だけ就業して後は全然氣楽な時間を過すことが出來ますが、家庭を持つて子供を育てゝ居るならば、夜も晝も區別はないのです。

其の日々々々の食事の用意、其の日々々々の汚れ物やいたんだものの仕末から、次の季節の衣類の仕度から、實に、家庭婦人の仕事は一寸の隙もないのです。それでゐて其の仕事に對する報酬はないのです。ですから、一般の婦人論者からは、家庭の仕事は奴隷的な仕事であると呪はれたのであります。さうして夜に日を次いで働いても其れに對する報酬はなく、自分の幸不幸は一切夫の心持ち次第で定まると云ふ憐れな狀態を此の頃の婦人は厭ふようになつたのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とは云つてもどんなに家庭を持つことや子供を生むことを嫌つても、大自然の命令には反抗しきれないで、矢張子供を生んでしまいますし、從つて、家庭が欲しくなります。そして、家庭婦人として不完全な、母として無資格な婦人となり、子供を健全に育てることが出來ないと云ふことになつたのであります。

いろ／＼の犠牲を拂ひ、いろ／＼の苦しい道を通つた後に、人々はだん／＼賢くなりました。そして、今日迄、どうしても婦人を男子より劣るものとする議論の基礎、婦人がどうしても男子と競爭することの出來ない原因なる生理的の作用、並びに母性を人間生活に於ける障碍と考へる其の考へに誤まりはないかと云ふことを考へ始めました。婦人の生活として最も常道である作用、國家にとつては最も重要なる育兒の業を、障碍物として考へることが、正しいことがどうかと云ふ處に人は氣付いて來ました。

母性を、生活上の障碍物だと云はうと何と云はうと、もし、それに經濟上の負擔と

云ふ嚴酷な事實さへ伴つて來なければ、不都合はないのです。けれども、母性を障碍物だと考へる其の考へが、母の權威を失墜させ、其の生活の安定を脅し、從つて、新國民が充分な發育を遂げることが出來なくなりますので、それで、忽せにして置くことは出來ないのであります。

其處で、夫の收入だけでは多くの子供を完全に養育するに足りない場合ひには、母は國庫からの支給を受ける權利を持つこと、其の上に、夫の收入に對しては妻が直接に權利を持つことなどが考へられるようになつたのであります。

英國では戰時中、軍人の俸給を直接妻に支拂つて好成績を擧げたと云ふことです妻が夫から俸給の一部を分けて貰ふ代りに俸給の全部を妻が管理するようになつてから兒童の健康、家庭の狀態が餘程改良されたと云はれてゐます。多くの場合ひ、家庭收入の管理には妻が最も適して居り、子供に對する直接の責任者は母でありますから一家の收入は夫の手を廻つて行くよりも直接妻の手に行つた方が結果が良好であるの

です。

歐洲諸國に於ては、長い以前から母性保險なるものを設定して小額の掛金で勞働階級の母を補助する計畫を致しましたが、それでは全く不充分であるので、此の頃になつてから、一般の母に對する補助金支給の案が一流の社會改革者達の手によつて提出されて居ります。其れ等の改革家達の意見は、『母性保護は父を通してするよりも直接母を保護することである。そして、家庭に於ける母の仕事は確に國家から報酬を受ける價値があるので、國家から支給されたからと云つて、決して、それが惠みを受けると云ふような性質のものでない。』と辯明して居ります。そして、これは、日給、月給及び、年俸で生活してゐる者の妻には皆一樣に必要であることを說いてゐます。つまり、其の日稼ぎの人夫から始めて大學の教授の妻に至る迄皆一樣に必要であると云ふのであります。

今日、英國に於て提案されてある母性保護金は實は餘まりに少額で到底母性保護論

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者を滿足せしむるものではないそうでありますが、併し、母の仕事が社會奉仕である
こと、國家から報酬を受くべきものであると云ふ原則が設定されたことを以て、今は
滿足して居なければならないでありませう。たとへ金額は僅かでも、其の原則が認め
られたことは偉大な進歩でありますから。

七、母性保護と慈善

エリザベス・ブラウニングが子供を生んだ時に、女史の從兄で資産家の獨身者が其
の子供の養育費として、年々一千圓づゝブラウニング夫婦に送りました。ブラウニング夫
婦は子供の養育費に困る程の貧乏人ではなかつたのでありますが、併し、富裕な獨身
者が子供の經濟上の叔父になることは至當であると云ふ理由から、ブラウニング夫婦
は喜んで其の支給を受けて居たのですが、これが母性保護實行の嚆矢であると云はれ
てゐます。そして、子供のない人が近い親類や友人の次代保育の業を補助することは
至當な正義、平等を實現する正しい過程であると考へられて居ります。

母性保護に反對する人は、又、名は何であれ、母が他人から又は國家から其の生活費を支給されることは、人としての恥辱であると申ます。親類又は友人から支給されゝば、今日迄、男子に從屬してゐたのと同じ奴隷の生活であるし、國家からの支給を受けるならば養育院の保護を受けると同じ意味になるので、老耄者、又は、廢人と同じ取り扱ひを受けることになるので、一人格者なる新婦人の耐へ難いことであると申ます。

けれども、これは母の任務の重大なる事實を見得ない偏見であります。もし、母が自分と子供の生活費を支給されることが恥辱であるとするならば、公立學校へ子供を遣つて敎育さることも恥辱であると考へなければならないことになります。公費で子供が敎育されることを親の恥辱だと考へる人は今頃ないでありませう。敎育税を拂ふ時に人は、それが敎育される兒童の親に慈善を施すのだと考へはしないでせう。國民の向上のために、國家が小國民を敎育する義務があるならば、其の敎育に最大

効果があるように、小國民の質を優良にするために、幼國民を母の愛の手に抱かしめて置くように、經濟上母の生活を國家が保護することは最も至當なことであります。

新國民を養成するに付て、國家は兒童が滿六才になつた時に、學校へ呼びよせて、始めて、親の手傳ひをするのでありますが、併し、父の賃銀が安いために、又は、母が逆境に居るために、心身の發育に必要な充分なる營養物、光線、新鮮な空氣、母の愛を缺いてゐたならば、國家の敎育事業の大部分も無駄になつてしまうことを思はなければなりません。

實に、婦人が母性の意義を認めるか認めないか、又、其の使命に忠實であるかないかによつて、國家の運命は大部分定まるのでありますが、其の大きな使命に忠實であらうとしても、生活の安定がないならば、其の使命を守つてゐることは出來ないのであります。其の上に、男子に從屬させられて居ると云ふ事實が、婦人の人格を劣等にし婦人の心を鈍らせ、婦人の發達を阻害してしまうのです。

不公平と云ふことが婦人の發達を阻害する毒藥であります。知らず〱の間に絶へず呑まされてゐる其の毒藥のために、精神的に偉大な人物になる者も、其の發達を止められてしまうのであります。

八、母性保護法と私生兒の母

處で、此の母性保護法を制定致しますに付て、其處に起る困難な問題は、私生兒を生んだ母を、つまり、正式な結婚をして居ない母を正式な結婚をしてゐる母と同じように扱ふかどうかと云ふ問題であります。

此の問題に關して、英米の母性保護法制定委員はどんな態度を取つたかと申ますならば勿論彼等のうちには、『私生兒を生んだ母にも保護金を與へるならば、私生兒の數は增加する計りであらう』と云ふ意見がありました。けれども、大多數の意見は、『母性保護金と云ふものは、母と子の生活費をやうやくカツ〱に支へるに足る程度のものであるから、其れがあるからと云つて、わざ〱私生兒を生むと云ふ行動に出ると

は考へられない。のみならず、自分と子供が食べるに困らないと云ふ程度であつて正式に結婚した婦人と比較するならば社會上の位置と云ひ、世間の人の自分に對する態度と云ひ、其處に雲泥の差があるから、わざ／＼私生兒を生まうとするものはない。其の上に生活の恐しい窮迫は、其れ以上に、母と子を墮落の淵に追ひ込むで取り返へしの付かない狀態に彼等を陷しいれることになる。そして、それは結局母と子の不幸、同時に國家の負擔となる。であるから、本人達計りのためでなく、國家のためにも、さう云ふ種類の母をも保護する必要がある。且つ又、一旦、墮落した女でも、生活の安定を與へられ、子供を適當に養育してゐるならば、子供の愛にひかされたり、希望を持つことが出來るようになつたりして、正當な道へ返へるようになるかも知れない。」と云ふのであります。それから、もう一ツは、母性保護法があるために、無產者が安心して結婚が出來るために、却つて私生兒は少なくなるであらうと云ふ推測もあります。

で、さう云ふ意見が勢力を得まして、私生兒を生んだ母も、矢張り、母性保護法の

適用を受けるようになつて居ります。

母性保護法の制定は、今、世界の大勢になつて居ります。此の時に當つて、軍備の縮小は誠に好機會であります。世間の意向は、軍備の制限から餘まつて來た金を敎育費に當てようとするらしいのでありますが、敎育事業がどんなに盛んになつても、敎育される材料が不良であつたり、曲がつてゐたりしたのでは、其敎育事業も大部分無駄になつてしまふことは前に度々申ました。

九、結論

敎育も、産業も、政治も、法律も、新國民の質が優良であることによつて、始めて有効に使用され、國力の充實の實現となるのであります。

そして、新國民の優良を期するには母性の保護が最大急務であります。

軍備縮小の結果、浮いて來た金は、最非、母性保護の資金に當てられることを私は望んで居るものであります。



本能の高尚化

フロイドの本能高尚化の觀念は、性的本能と殆ど同じな或ひは全く同じな他の本能に應用することが出來る。で、私は此處に此等の本能の高尚化が德育に遂行く範圍を示さうとする。敎育の根本義は一次的の本能の働きを社會的に働くように其の方向を向け直す事である。若し本能の自然の發露が止められるならば、其の本能の力は新しいそして恐らくより高尚な表現の形式をもつて他の方面へ現れて來るであらう。

たとへば、怒りと云ふ本能が高尚化されるならば、それは敎場に於て、運動場に於て又は商業に於て及び其他の事業に於て、高尚化された競爭となる。自己主張が高尚化されるならば、それは利他主義の社會奉仕をしようとする高尚な喜びとなる。好奇心は時に依れば惡い結果となるが、之れも醇化せられるならば、知

識的好奇心となつて科學、宗敎に大功績を現すことになる。食慾も醇化せられるならば、正義、又は、眞理を求めるひもじさとなる。現代に於ては、人は原始的な本能を醇化するのでなければ生活する事が出來ない。

（ウエスレー、エツチ、ウエルズ。）

私生兒の幸福と諸威の法律

家庭を保護することは子供の幸福が主なる目的である。諸威に於て、一九一五年に規定された法律の中の主なるものは正式な結婚をしない姙婦人にその胎内の子供の父の名を云はしむる事である。若し云はなければ罰せられる。そして、警察權は其名指された男を召喚する。召喚された男は、若し自分が眞に子供の父でないことを主張したければ、其の父でないと云ふ證據をあげる義務がある。四週間以内に婦人よりの說明書に反證を擧げなければ其の婦人の子の父として認められる。さうして認められても、又は、自分から父であることを承認しても彼は月々拾七圓の最小限度の養育費を支拂はねばならぬのである。舊の法律の下にはこの最小限度の養育費に關する條項がなかつた。そして、男に對して子供の養育費を請求する手續を取る取らぬは婦人の自由であつた故に生れる子供の利益は充分に保護されてゐなかつたのである。かくの如くに官權が私生兒に干涉する結果は、僅かの例を除くの外、一般社會は利益を得てゐる。で、この法律は、判事に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

判決に付ての完全なる自由を與へてゐる。諾威の社會局は尙一歩進んで特別なる事情のある場合は直接干渉を一時差し控へるやうに推薦してゐる。いづれにしろこの法律の統計的結果は子供を保護する上に於て大なる功績を擧げて居る。

（エム、エム、アンダーソン孃）

國民生活と活動寫眞

國民性と云ふものは作法や流行と同じように大部分は傳染的のものである。そして國民性は敎育に依ると云ふよりは寧ろ時代の有勢なる感化力に多くは依るものである。英國の倫理の標準は、公平と云ふ事、秩序正しいと云ふ事、正直と云ふ事、謙遜と云ふ事である。處で、之等

の德は絕えず、亞米利加製の活動寫眞のために變化を受けつゝある。公平と云ふことに關しては多少の狡猾や僞りは聰明さのしるしとして稱讃される。法律や秩序に關して、罪惡を恐ろしい物としてゞはなく、併し必要な止むを得ぬ一些事として屢々表はしてゐる。又、正直と云ふことに關しては、フイルムの製造家は云ふ、「如何なる人間にも疑はしい點のないものはない。罪人と雖も自己の罪惡を悔ひ改める以上は直ちに社會に受け入れるべきである。」と。又、謙遜に關しては禮節に對する罪を犯して居る活劇を屢々見せてゐる。要するに亞米利加製の活動寫眞の空氣は既にぼんやりと腐敗して居る。彼等の見地は英國人、或ひは眞の米國人の

見地ではない。米國の寫眞は、合衆國の一局部に集まつて居る活動寫眞製造家と劇作家との或る團體に依つて見られた或る生活を代表して居るのである。其れにも拘らず、それ等の米國製の活動寫眞に依て世界は今米國化しつゝある。けれどもこの米國化は決して米國の最善な要素を代表するものでないことを思はなければならない。又米國人の人氣に最も適して居るものでもないのである。とは云へ米國は今活動寫眞製造の獨專權を握つてゐる。何となれば米國は活動寫眞製造に適した氣候の國であり、又この事業に投資された資本は莫大であつて、其の自國内に於ける需要も非常なものであるから

（アーサー、ウエーゴール）

宗教は死すか

生活の安定を保證する複雜な習慣は、其の基礎を宗教の上に置いてゐる。人生の必要に添ひ、人生の理想を含み、そして強固な、生活を保證する術を與へるものはこの宗教と云ふ社會組織である。そして、これ等の古い習癖と習慣とに情緒生活は戀著してゐるのである。そして、宇宙の實在の新しい概念の解釋に、其の古い社會組織は抵抗する。故に、新しい宗教が紹介される時、或ひは宗教的革命が仕遂げられる時、先づ變化されねばならぬものはこの宗教の古い構造である。宗教家は、彼の理想を社會構造の中へ織り込んで、そして、在來の社會秩序を變化させるのでなかつたならば、彼の理想は

只聲ばかりで社會に何等の影響はない。終局の目的は常に生活の根本的利益であり、同時にその利益を具體化した社會秩序である。この理由で宗教が生きるか死ぬかの問題は特別の環境に於て常に特別問題である。宗教を苦しめるものは心理的の病氣ではない。社會秩序が外部の力に接觸する事に依て、又は新しく現れた思想や理想に依て社會秩序が變更される時には昔の形式の宗教は、若しその宗教が私しい生活組織と調和しない場合には死んで了ふのである。

（エー、ユースタース、ヘイドン）

戰爭中の社會進化と革命

大戰爭の經濟狀態が社會に及ぼした影響は先づ次のやうに概括される。

（一）資本の集中　小口貯金の吸收、及び貯金の形となつて資本が蓄積された事等である。戰爭は尙又經濟の重心を動かして了つた。例へば東プロシヤ及び西プロシヤ並びにババリヤの經濟的重要さは更に擴大した。農業地方は、戰時に於て獨專的利益を占めつゝ經濟界を支配して居た軍需品產業と肩を並べるようになつた。

（二）勞働に對する烈しい需要は勞働階級に獨專的地位を與へた、そして同盟罷業に依らずとも彼等の要求は充たされるやうになつた。

（三）色々の型の中流の階級は戰爭に依て破壞された。凡て之等の階級は最早彼等が從來とつて來たやうな生活の方法で

は生活は出來ない。役人や月給取りは其の生活方法を變へねばならない。斯くして戰爭の終りに當つては新しい富豪と新しい貧者とが對立したわけである。この對照が戰爭の繼續と共に益々烈しくなつて、遂に革命に迄延張して行つたのである。

（イー、レッダラー）

最近の社會學に於ける敎育

クーレー敎授の社會哲學は次のやうな事を適發して居る。有機的な心を有機的に見ることよつて、個人と其の個人の集團との間の關係に付て正しい概念を摑むことが出來る。個人は、自己の屬する集團の有機體的一部である。故に、個人は彼の屬する集團に依て自己を決定されると同時に彼も、又、其の集團を決定する。故に個人の團體とは相互關係のもので、相互に依て決定されるものである。又、多くの團體、（其中には理想的團體も含んで居るが、）に依て決定される。殊に青年時代には家庭、運動場、又は學校の如き一次的團體に依て最も多く感化される。人が利益と目的の共通な意識に於て共に生活する處は學校である。故に民主的國家の基礎となつて居る忠義心、統一、正義及び同胞主義の情操と理想を發達させるに最も好都合な場所は學校である。

（ジョセフ、テイ、ウイリアムズ、）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



新しい母と舊い母

賢い人と愚かな人との違ひは他人の經驗を利用すると、しないによる處が大分あると思ひます。學問と云ふことは一面から見るならば、要するに過去の人の經驗の結晶でありますから、學問があると云ふことは、過去の人の經驗を自分に取り入れて居る人と云ふことです。

けれども、個性と云ふことに餘まり重きを置き過ぎる現代は、其の過去の人の經驗と云ふことを侮蔑して居ると云ふ傾きがあります。

因襲と云ふ殼が個性の發達を妨げて居ると云ふ事實も確かにあります。けれども、過去から私共に傳へられたものゝ凡てが個性の發達を妨げる殼であると云ふことは出來ません。其の殼があればこそ何百年、何千年以前からの人類のための寶物が保存され、私共に傳へられ、私共の生活を豊富にしてゐると云ふ事實もあります。

ですから、要は、其の殼なるものが本當に私共の成長を妨げて居る有害無益なものであるか、或ひは其の殼によつて私共の生命が保護され、私共の成長が助けられて居るかどうかを見極める必要があるのですが、併し現代の青年女子は本能に從ふのが急で、其れが面倒なのです。そして殼なるものは其の種類が何であれ一切が私共　の成長を妨げるものだと定めて居ると云ふ風があります。

過去の人の經驗を侮蔑し、過去の人が定めた型を因襲の殼だとして、一蹴し去る現代の青年女子は自分の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

身に直接ふりかゝつて來る事柄以外のことには無關心で居ります。そして自分は祖母や母とは別種な人間であるような氣持ちでゐて、未來に關して祖母や母が注意しようとしても耳を傾けません。

母としての經驗に付ても亦さうです。祖母や母が『お前が子供を持つたら……』と前提してのいろ／＼な注意や敎へは非常にうるさいものとしてゐます、そして多くの場合ひ『私は子供なんか生みはしませんから、そんな事を覺へるのは餘計なことです。』と云つて祖母や母の言葉をしりぞけます。智力階級に屬すると云はれる婦人でも、今の多くの人は、いよ／＼自分の腹に子供がやどる迄、子供に付て考へてゐません。そしてこれは自分の感情を本位として一切を考へる個人主義的傾向の理解だと思ひます。其の刹那に於ては其の人の偏りのない氣持ちではありませうが。

けれども、それでは智力のない經驗を利用することを知らない動物生活と大差がないと云ふことになります。親の經驗を利用することを知らない雌猫は、自分の腹から子猫が出たのを見てびつくりしてゐます。後には必ず親になると云ふことを考へずに居る人は此の點に關しては猫と同じようではないでせうか。

古い型の女は新時代の母として價値がないと云ふことは世間の定評でありますが、それでも彼女達は柔順でありましたから、よく祖母や母の言ひつけを守つて後に母となる練習を致しました。勿論、子供の肉體を扱ふ上に於てゞす。彼女達は子供の精神を扱ふことは[illegible]知りませんが、子供の肉體を扱ふ上に於ては、自分の子供が始めて出來た時分にヒドクとんまなことは致しません。

同じ年頃の婦人でも舊式に育てられた人が小ぎれいにキチンと子供を仕末して居るに反して、幾分新しい敎育を受けた婦人が無器用で子供を持てあまして居る處は本當にいゝ對照だと思ひます。

新智識を幾分かもつた婦人は、皆、母となることを厭ひます。それが自分の個性の發達を阻止すると云ふ理由で。

母となる前に、或る程度迄自分を發達させて置かなければならないと云ふことは勿論でありますが、併し

自己發達のために母となることを拒むと云ふことは、もの丶本末を顚倒したものであります。

どんなに大聲擧げて經濟上の獨立を叫んでも、母となることを拒んでも、一定の時が來れば大抵の婦人は結婚します。結婚すれば子供が生れます。それは自然の命令です。自然の命令によつて人は必ずさうなると云ふことを智力ある人間は悟つて、そして、其の用意をすべきであります。後には母になると云ふことを少しも考へないで其の時々の感情に從つて行動をとつてゐて子供が出來てから、急にあはてるのは雌猫と同じで智力ある人間のすることではないと思ひます。

さう云ふ人は、肉體的には母となつても心に用意がありませんから、いつも子供に先を越されて子供の仕末が付かなくなるのです。子供を持たない先きから後には必ず母になると云ふ覺悟を持つて心の用意をして置く人は、子供を持つた時には此の子は六ヶ月たてばこうなる。三ツになればこう。十才になればこう。と他人の經驗を利用して、いつも、子供の智慧より一歩先きへ出て居て、子供が此處迄進んで來るのを待つてゐますから、子供を心的に體的に完全に導くことが出來ます、則ち子供の本能を敎育することが出來ますが、母になると云ふ心の用意のない人は、子供が生れた時に先づ狼狽へる。子供の方は母の心の狀態には頓着なく日増しに、どんどん智慧がついて行きます。

持つて生れた動物的本能でも何でもを無遠慮にズン〱伸して行く。子供の惡性の芽がもう伸びてしまつてから、母は、『あら、あんな事をした。こんな事をした。』と、あはてて反抗して見ます。けれども發育盛りの強い精力をもつて母よりも烈しく頭を働かせる子供には、にぶい頭の母の力は何の影響もないと云ふことになります。子供はズン〱其の惡性、惡戲を發展させて行きます。母は追ツかけても〱追ひ付けないで子供が十才にもなれば、殊に男の子の場合ひには、もう母の手ではどうにも仕末がつかなくなつて、ほうり出してしまつて、すつかり子供の放埒、亂暴我儘に任せてしまいます。そして子供が多少理屈でも覺へると『うちの母には何にも分らない』と定評を下してしまいます。そして母と子は全く別な世界に住まなければ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ならないと云ふ淋しい、情けない状態になつてしまいます。

舊思想の人が新思想の人を厭ふわけは、所謂新思想に囚れた人は、理屈を云ふこと計り知つてゐて實力がそれに伴はないからであります。そして、實力の伴はない理屈は、大抵半煮への理屈です。ですから、舊思想の人から見るならば、今の若い新思想の人は、手の付けられない生意氣な半端な人間に見へるのです。

私共が自覺すると云ふことは、半端な人間になるのでもなく、小理窟を云ふことを覺へるのでもなく、人間として一個の社會員として自己の位置をはつきり見ることであり、そして婦人は女性の使命、及び今日の婦人の位置を明らかに見ることであり、そしてそれが明瞭に分るならば、次代の母となることが、人類的に國家的に如何に重大なる職務であるかと云ふことも了解出來、女性は母となることの準備に全精力を費すべきであると云ふことも了解出來ます。

ですから新婚の夫人などは、今日の一般の趨勢である處の婦人に經濟上の獨立がないなどと云ふ愚論に迷はまれることなく、時代の母としての有資格者になるための修養を一時間でも多く積まれることを私は希望します。次代の利益、次代の向上と云ふことを本位として生活の型を定める處に一夫一婦の永久的倫理的基礎があります。

人類が蓄積したあらゆる智識と云ふ武器を自他共に利益を齎るように使用する人間も、又はそれを惡用して社會に害毒を流すような人間も實に三歳迄に出來上がつてしまうことを考へたならば幼兒保育と云ふ業が如何に重大であるかと云ふことが分ります。そして其の重大なる任務を果すには經濟の獨立でもなく、參政權の確立でもなく、子供に德性を植へつけ得る倫理的資格が母になければならないのであります。新婚の夫人は、先づ此の點に關する自覺を持つてから、日々の生活の方針を定むべきであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



自己を生かすには

此の頃頻々として起る家出事件、離婚事件、自由戀愛事件は、特に或る階級に限られてゐるのではなく、有產階級、無產階級、及び智識階級と全階級を通じてゝありますが、一體、これは何故であらうかと云ふのが一般の疑問であります。經濟上の變化、家庭外の婦人勞働が影響する處も少なくないでせうが、併し近代の個人主義的非社會的の思想が全階級を通じて浸潤して行つたのだと云ふことは拒むことの出來ない事實でありませう。

そして或る一派の急進思想家に云はせると、これは婦人の自覺、因襲破壞の勇ましい首途、婦人の進步向上の第一步であります。長い眠りからやうやく醒めてそして、自己に生きようとする人としての婦人の正しい道だと急進思想家は云ふのであります。實に彼等は子が親に背き、妻が夫に叛逆し、年少者が年長者を疎んずることを以て、痛快事となし、個人の進步だとして快哉を叫ぶのでありますが、併し私のハートは決して其の傾向を受け容れません。受け容れる處でなく、冷やゝかな刄のやうな彼等の言葉を痛く感じて戰慄を覺へます。

私としても、親の橫暴、夫の暴慢、年長者の頑迷と云ふ事實のあることを認めます。同時に、親の愛、夫婦の愛情、年長者の慈愛と云ふものも彼等の心のうちに併せ存在してゐることを認めます。けれども、世間の個人主義者、權利主義者は、彼等の惡い點を見るのに急であつて、彼等の美點を全然無視して居るのが、本當に痛恨事だと思ひます。

人情と云ふこと、大きい言葉で云ふならば人道と云ふことを除いて、此の人間界に殘るものは何ですか。智力、經濟力、腕力でありませう。これ等の力は、人情を働かせるために、則ち人道を行ふための道具であります。必要缺くべからざるものではあります。けれども、人情なく、人道を無視してゐて、それ等の力計

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り備つてゐても人は決して幸福でありません。

惡人とは、諸惡、不人情な人間なのです。他人の迷惑や、苦痛や、悲しみを全然無視して事を行ふことの出來る人間です。善人とは他人を思ひやることの出來る人間です。全世界の人類を思ひやることの出來た釋迦や基督は最も人情の厚かつた人です。

けれども、個人主義的非社會的の思想は、人間生活に最も大切な其の人情を稀薄なものにしてしまいました。自己主張に急であつて他人の存在並びに、社會組織を無視します。自己の權利を主張することを知つて自己の義務を忘れてゐます。實に、今日の家出、自由戀愛、自由離婚の實行者の多くは個人主義的非社會的の思想に操られて、自分には個人面と社會面のあることを見得ないのであります。

社會面だの、義務だの、人道だのと云ふと大變難しいことのようですが、併し實際には難しいことではなく、要するに不人情なことをしてはならないと云ふ心がけがあれば足りるのです。

自己を生かすためには必ず周圍を泣かせればならぬと云ふことはありません。其の行爲が、又は考へが善かれ惡しから、自分のために涙を流す位ひの人は、必ず自分に愛情を注いで居る人でありますから、其の愛情を手がゝりとして理解を求めるために努力するのが先づ順序です。相手の理解力と時間に賴んで努力するならば、大抵の場合ひ、周圍を泣かせず、社會を害さずして自己を生かすことが出來ます。

自己の社會面を自覺し、社會を害してはならぬと云ふ義務に氣が付いて居る人のみが、舊道德を破壞する權利があります。半醒めの、自己のあることを知つて社會のあることを知らない、自己の都合のみを計つて直接自己に關係のある親、子供、配偶者の不都合を無視するような人間は、新人でもなく、本能のまゝに動いてゐる人情のない、半獸人です。

で、要するに今日、頻々として起る家庭破壞と云ふ悲慘事を救濟するには、親、夫、年長者が、娘、妻、年少者の精神生活を認め尊重し、同時に娘、妻、年少者が、自我的の自覺則ち半醒めでなく、全的に則ち自己の社會我をも自覺しなければならないのであります

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

豫言者の言葉

原田琴子

あゝと思はず吐息をもらしてT夫人は縁の柱に凭つた。

時雨もよひの、うそ寒い秋の夕べである、葉の落ちつくしてボロ／＼になつた庭の立木の間から陰氣な薄暗い空が覗いてゐる、水盤の向ふの萩のくさむらにサラ／＼と風が鳴るとどうやらその空もこまかにふるえて居るやうに見える。雀が一羽チチと啼いて松の梢にからむ蔦の葉にとまるかと思へばすぐにまた飛び去つた。

『父様はどうしてゐらつしやるかしら……』

夫人の心は旅に出た良人の身を案じる思ひに充ちてゐた そして何を見てももの寂しく、何をするのもものうかつた。日頃は家庭の煩雑に堪へられないやうな事を言ひはするものゝ家をはなれて旅へ出ては人一倍寂寥を感じるのが夫人の良人の僻であつたそれをよく知つて居る夫人には、また旅にある良人が人一倍氣づかはれた。出立の朝の良人の蒼い顔が夫人には忘れられなかつた。

『なあに何でもないさ、一週間も遊べばぢき癒つてしまふ』

さう事もなげに云つて良人はともすれば沈みがちになる夫人に向つて笑つて見せた、がその笑顔も夫人の眼にはこの上もなく寂しいものに眺められたのであつた。

幾度も風邪をこじらせて咽喉を惡くしたところへこの數年來の過勞が一時に出た夫人の良人は周圍の人達の勸めに從つて思ひきつて數日の旅へ出る事にきめて、そして温泉のあるUへと獨りで旅立つたのであつた。いた／＼しく憔れてゐる良人を唯一人汽車に乘せるといふことは夫人には不安心でならなかつた。『お母様でも御一緒だといゝのですね……』と良人の顔色をうかゞひながら夫人は云つた、けれど良人は事もなげに『なあに一人で結構さ』と打消す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やうにいひきつた。

「でもね父様、ほらあんなことも御座いましたもの今年は、ですから……」

「どんな事！」

「お正月の豫言者――」

「なんだあんな人、お前も存外お馬鹿さんだね」

「ですけれど氣になりますもの」

「あんなくされ豫言者の言つたことがかい、大丈夫ですよ」

から／＼と笑つて良人は相手にならなかつた。で夫人は濃い眉を一寸しかめたまゝ默つて、新らしいシャツや足袋やどてらなぞをトランクへつめてゐたけれどその間にも夫人の心は決して晴れなかつたのであつた。夫人の心を曇らすそのお正月の豫言者といふのは次のやうな譯であつた。

今年の元日の夜であつた。晩餐後の果物の皿も退かれて三人の子供達は勉强部屋へ篭つてから後夫人と良人との二人はまだ茶の間の明るい電燈の下で年始狀や年賀の名刺に目を通して居た、その時元旦の夜ののんびりした靜けさを破つてせはしなく門のベルが鳴つた、と勝手の方から誰か取次ぎに出たやうであつたがやがて何やら云ひ爭ふやうな聲が聞えて來た。

「誰かしら。」

小首を傾けながら夫人はさつき小間使ひに向つて「今夜は旦那樣はお疲れでゐらつしやるから、大抵のお客樣ならやすんでゐますと言つておことわりおし」と命じた事を思ひ出してゐた。するうちにしのびやかな小間使ひの足音が襖の外で消えて

「奥樣一寸」

といふ聲が聞えた。

「何、どなたなの」

夫人も低い聲でたづねた。

「あの△△△△さんと仰云います、豫言者の」

あまりの思ひがけなさに夫人思はず顔をあげて良人の顔を視たもの丶すぐいつものはりのある聲で云つた。

「そしてなんと仰云るの」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「旦那樣にお目にかゝりたいと仰云いますから、御不快でお逢ひ出來ませんと申上げましたが、あのお調りでずん〳〵お上りになつて、お座敷へお入りになりました、そして奧樣でもおよろしいと仰云います」

「…………」

夫人は再び良人を見返つた、一枚の趣巧を凝らした繪葉書に熱心に觀入つてゐた良人は今の小間使ひの言葉が耳に入つたと見えて顔をあげた。

「よろしう御座いますわ私が出ますから、あの……なんで御座いませう」

「あゝいつかも學校の方へ來たのだよ、その時少しばかりやつたものだかられ――子供をつれてゐるの」

「はい、女のお子さんをおつれで御座います」

「ぢや子供に菓子でもやつておくれ――なか〳〵歸らんかも知れないぜ」

「いえ何とかして私が歸らせませう」

かう云つて夫人は一寸姿見の前へ立つて衣紋をなほしてから客間へ出た、見るといつもの白い衣裳をつけた自稱豫言者が床を後ろにして坐つてゐた、そばには蝦夷茶の洋服を着た顔立のいゝ女の兒が控へてゐた。そして二人は夫人を見ると兩手を揃へて額の上迄舉げる豫言者獨特の妙な挨拶をした。が夫人は落ついた態度で普通の禮を返して後、徐ろに來意を問ふた。

「御主人に御目にかゝりたい、御主人にお願ひしてをいた事があります、その御返事を伺ひたいのです」

豫言者はなれ〳〵しく云つた。

「左樣で御座いますか、主人は生憎不快で寢んで居りますから、失禮で御座いますがまた他日お出でを願へますまいか」

夫人は言葉使ひをなるべく丁寧にしとやかにと氣をつけた、けれど事が面倒になるのを恐れて、その用件を取次がうとは云はなかつた。

「それは先刻伺ひました、だが大した御病氣でもないのでせう、お寢みでも構ひません、△子、小父さんをお見舞ひしてお出で」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

讒言者は娘に向つて云つた、と子供はすぐに立ち上つて『何處なのと』夫人に訊いた。夫人はすぐれて子煩惱な人であつたがその小賢しい人ずれのした態度を見ると子供に對する愛情よりも却て嫌厭の情を感じた、でキツとした調子で

『いゝえ行つてはいけません。人の寢んで居るところへむやみに行くものではありません』

と云つて拒んだ。意外だといふ面地で讒言者は一寸沈默したが何と思つたか急に態度をかへて荒々しいせきこんだ調子になつて何かいひ始めた、それはつまり讒言者たる自分は普通凡俗の人々とは違つてゐる、だが衆愚は到底自分を理解しない、こゝの主人なぞは珍らしく理解してくれる人の一人である、と信じてゐたがそれは誤つてゐた、家に居りながら虚病をつかつて面會せぬといふは自分を侮辱するものであると云ふのであつた。

『虚病ではないと仰云るか、いや私はいやしくも讒言者ぢや、虚病か虚病でないか位はこの宅へ入るとすぐに知つてゐる、それればかりではない、私はなんでも讒言をします……奥さんあなた方御夫婦は三年とたゝぬ中にきつと別れることになりますぞ、今後三年以上は御一緒に居られませんぞ、それはたしかな事ぢや、私は讒言をする。』

遂には威丈高になつてかう讒言者はどなるのであつた、氣丈な夫人もこの亂暴な言葉には顏色を變へた、が、なんとか宥めて歸す外にないと考へてわざと平氣な調子で應答をつゞけてゐた、然しそのうちあまり騷がしい聲をきゝかれた良人がずか〳〵と坐敷へ現はれたために忽ち事件は解決した。良人が何か激しい言葉を一言云ふや否や讒言者の態度はすぐ變つた。

『いや――君私は何も――』

辯解しようとするのをさへぎつて良人は畳みかけて云つた。

『いかにも私は大した病氣でもない、たゞ少し氣分が惡いので御面會をおことわりした、それが何で不都合です、御面會するとしないとは私の自由なのだそれを勝手にあがりこんで案内に向つて無情をいふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

君の方が不都合ぢやないか、家内は君に妨げられて外の用事が出來んのだ。何の用事か知らないが今日は私は氣分も悪く頭痛もする、このまゝ歸り給へ」

さう言はれて豫言者は一言もなく歸り支度にかゝつた。玄關で子供に靴をはかせながら思ひ出したやうに

「奥さん、失禮しました、」

とも云つた。

「だけれどあの人は私の一番いやがることを云つて行きましたわ」

その晩おやすみの挨拶をする時にふと夫人はかう云つた。そして三年以内に別れるといつた豫言者の言葉を良人に語つた。勿論良人は「馬鹿な事を」と云ひ退けたのであつた。

夫人は今その晩の事をあり／＼と思ひ出した、あんな者の云つた事が。と如何かしていやな考へを追ひ拂はふとはするものゝ拂ひきれなかつた、今良人は自分をはなれて旅に居る、そして……このまま歸らぬやうな事が萬一起りはすまいかと案ぜられるのであつた。左様思ふと胸をしめつけられでもするやうな氣がした。

「お母さん何してゐらつしやるの。」

可愛いゝ聲と共に秋の樹のうしろから驅け出して來たのは末っ子の泰であつた、夫人は强いてほゝえんで

「お庭を眺めて居ましたの、あの泰ちやん、郵便箱を見てきておくれでないか」

と言へば大きく頸でうなづいてまた一さんに驅け出して行く、そのあとには小さな土埃が立つた。（未完）

◇婦人生活の創造　三角錫子著　實業の日本社刊行

本書は常盤松女學校長として又思想家として講演に雜誌に發表されたものや、又、女史の殁後篋底から探り得たものなど合せたものであります。殊に最後の「涙と汗の日記」は女史の自叙傳とも云べきものであります。女史の一生は僅か五十年でありましたが其の奮鬪的な生活の跡は青年女子の好個教訓でありませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新刊（廣告参照）

性の社會的考察

フィルデンア著
瀬戸義直譯
近代文明社發行

性の問題は今日迄專門家にのみ托してあつて、普通の人が其處に手をつけるのは汚ないことであるように考へられてゐました。其の矛盾した二元主義を本書は痛快に攻撃してゐます。性の教育と云ふことは難しいことに相違ありません。けれども、全然、打ち捨てて置いたり、又は挑撥的な文學を世間に讀めさせて置くことから比較するならば何でもないでせう。で本書の著者は眞面目な一般的な薫陶によつて、此の大切な教育を平和に無害に成し遂げられる望みを充分持つてゐます。且つ又著者は今日迄の性的道徳を論ずる人々が見逃してゐた性的教育と經濟的關係をも論じてゐます。そして、又性的教育の成功不成功は性に對する人々の概念の變化を待たなければならぬと云つてゐます。要するに本書は最も確實な人間性の研究を基礎とし、最も進歩した科學的原則を優れた腕前をもつて總合してゐるのです。譯文の流暢なことが又本書の價値を大きくしてゐて性に關する反譯書のうちに稀に見る良書です。

心のあさ

三宅やす子著
實業の日本社刊行

本書は著者が折々發表された評論、感想の外に、創作が三篇あります。著者の書かれたものを見ていつも私共が感じるのは温かで、健實で、用意周到と云ふことです。考へ方が實際的で脚が地にしつかりついてゐると云ふこと、妻として母としての情熱が燃へてゐること、人として頭腦が明晰であること、これ等が著者の特長でありませう。實に本書は著者の心のあとが美しく輝やかしく朝の白露のやうに光つてゐます。青年女子のために本書を得たことを喜びます。

教育社會學講話（第十一回）

社會の要素、即ち人口、地方、人間性及び交通等を研究して參りましたが、其の後には、當然之等の要素が合してどう云ふ風な作用が起るか、又どふ云ふ風に相働き合つて社會が組織されるかを研究する事になります。例へば人口はどんな風に色々の大きさの團體となつて組織されるか、又其の團體は如何なる目的を持つてゐるか、そして又其等の團體の性質によつて、それ〴〵の目的も違つて來ます。其の團體と交通機關とは個人の性質と活動の種類に依つて影響を受けるし、且ッ又、その活動には人口の位置と稠密さが非常に影響するのであります。で、その影響に付いて研究する事は會社現象を研究するに最も重要な部分であります。この社會組織の問題は社會の最も重要な部分を占めて居るのでありますから、この第十一回の講話から、其の社會組織の研究を進めて行く心算です。社會の眞相を知らうとすればどうしても社會組織を研

究しなければなりませんから。

第一次的の集團(グループ)と同性質の者の集團

各人には趣味、作法、信仰、言語及び其外無數の懸差がありますから、人は誰とでも親密になると云ふことは出來ません。故に愉快な共同はどうしても親しみのある集團を基礎として起すより外に方法はないのです。つまり、感情上共鳴ある集團のみが愉快な交際を續け得るのであります。

故に社會の中心となつて賢く社會を指導しようとする人は、今、自然に出來た集團(家族)又は團體や黨派を研究して居ります、固く結束してゐる個々の小集團に、群集を分つ事の仕事は未だ一ッの學問とはなつて居りませんから。

處でこの第一次的の小集團即ち家族と云ふものが人間社會の最も要素的組織を成してゐます。

社會的本能は深い關係のある小集團の範圍内に於てのみ最も有效に働くものです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

相互によく知り合つて居る人々の間では同情によつて惡い行爲が制限されてゐます。詐欺師でも自分の知己に對しては正直で寛大であります。掠奪的な腐敗した、又は人を腐敗させる政治上の親方株でも自分の子分達に對しては非常に親切で尊敬に價する人物であります。

　そして此處に社會組織の理論の萠芽があります。何人でも其れ等の集團の社會上の重要さを認めます。けれ共殆ど例外なく學者は今日迄斯ふ云ふ集團の意義に意を注がなかつたのであります。つまり學者の注意を要するには余りに明瞭過ぎた事實であると考へられてゐたのでありました。

　斯ふ云ふ問題を始めて充分に研究した人はクーレー教授であります。一九〇〇年中クーレー教授はこの問題を講話の題としました。そして一九〇九年には『社會組織』と云ふ書を公にしました。

　そして、斯ふ云ふ集團に一次的と云ふ形容詞を用ひて居ります。その理由は多くの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

意味に於て一次的であるからであります。又、個人の社會性と理想とを造る事に於て其れが根本的であるからであります。敎授は正確な定義を下しては置きませんでした。敎授は知合ひと云ふ事以上にこの第一次的の集團に對して判然とした特長を擧げては置きませんでした。併し乍らこゝに一ツの定義があります、それは敎授が私信の中に書いたものであります。その私信を此處に擧げて見ます。

「私は親密な人々の集團を第一次的の集團であると云ふのが常に習慣である。親密が相當の期間繼けば自然同情となる。その結果としてその集團は一團體としてはその團體の各員にとつて社會我の主なる範圍である。例へば競爭、功名心、又は忿怒、忠義等の活動範圍となるのである。」と。

人間の中に群居的本能が發達し、そして如何にして社會人となつて生活すべきかを人間が學んだのは之等の團體のうちの一員となつたからであります。で、他の學者も之と同樣な考察を發表して居ます。例へばリー敎授の如きは「敎育に於ける遊戲」の中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に次のやうに述べて居ます。

『團體精神（ギャングスピリット）は益々擴張せねばならぬ、そして稀薄であつてはならぬ。團體精神から來る親密關係は行爲の修養として必要である、青年男女は皆英勇的ではないから。老人も青年も彼等自身の行爲の標準を彼等自ら變更する事は出來ない。我々の行爲の標準を變へるには必ず外部の壓迫が必要である。我々の怠ける性質や卑怯に打ち勝ち、障害物を取り除け、吾々の心の要求を充たす爲に冷酷なる社會に打ち出でるにはどうしても外部の壓迫が必要である。

『人生に於て最も困難な問題は他人を取り扱ふ正しい方法を見出す事である。つまり、禮儀と云ふ事を獨立と調和させ、他人を尊敬する事と自尊心とを調和させる事である。この最も重要な事柄に於ける敎へは單に敎へたゞけでは有効でない。つまり、あゝせよ、かうせよと命じられてもだめである、併し自分から他人のするのを見、又自分と關係ある團體から自分に要求されて居るものが人の行爲の標準を形造る力である。』

ジユウイー博士は又『民主政治と教育』と云ふ書に於て次の如く云つて居ます。

『小供は極めて小さい時分から、或る行爲をしようとする時に當つて、外の者がさう云ふ行爲をした場合にどう云ふ褒美を得たかを考へる。人の行爲を決定するこの方面から來る力は非常なものである。』

一次的集團の大きさ

『一集團の社會學的の構造はその集團に集まつてゐる人の數に依て根本的に變化せられると云ふ事は直ちに了解出來る。或る範圍に達した集團、そして其の人數の增加に於て或る時代を經過した集團は、その集團が以前には必要としなかつた形式と組織とを必要とすると云ふ事は我々の毎日の經驗に照して能く分る事である。之れに反して、團體が小さい時分には、其の特質と相互の活動を現してゐるけれども、會員の數が增加した場合には其の特質と活動がなくなつてしまう事も我々の毎日の經驗から知る事が出來る。』とジンメル教授は云ふてゐます。

「一個の人間が交際を維持し得る合手の人數はその人々の性質、仕事の種類、又は共に暮す時間の差異等に依て違つて來る。それは大抵は二十人か三十人であつて、恐らくは八十人を越える事はないであらう。こう云ふことは、又、機械的に企てられることではない。併し時とすると團體組織の成功が圖らずも機會に依て出來る事もあるが。或る一人の米國工學士が徹底的に愉快を感じた一ツの仕事として、キー・ウエスト鐵道の建設の時の話をした。その工事中には鐵道の橋臺が海の中の飛び〳〵な岩の上にあるので勞働者は別々な小さな組みを幾つも造つて別々に働かなければならなかつたので、一組みになつた人達は全く親密になつてしまつたと云ふことであつた。陸軍に於てもさう云ふ例がある。親密な聯際を造るには各隊の將校及び兵卒の數は大抵の場合二十五人位が最も適當である。又、大保險會社の責任ある組織者の一人の話によると、一定の交際即ち懇親會のやうなものを通して二十人乃至は三十人の團體を造る事が最も有效であると、大學に於ても又その通りである。學生が專門大學の下にそれ〴〵

の團體に別たれて居る事に依つて總合大學はなめらかに活動することが出來る。若し官憲が國民を整理する上に於て、前述のような方針をとらないならば、社會生活の他の條件と衝突するやうな黨派が自然に現はれる」とワラス氏は氏の「大社會」と云ふ書に於て說いて居ます。

第一次的團體の大きさに關する諸大家の議論は教室の生徒の數に關する議論の中にも見出だされます。一人の教師に對して三十人の生徒が最も多く標準とされてゐます。併し時に依れば四十人迄に主張する人もあります。この問題に關して質問された校長達の答は大抵三十人であります。先づ千五百人の生徒を有する學校として一級三十人とするのであります。併し乍らこの千五百人の全數を千人に制限するを可とする論者も澤山あります。或る學校に奉職する一教師が次のように話しました。

「私の學校の教師は以前は二十五人でありましたが今は四十五人に殖えました。そして、これは教育者團體としての性質を根本的に變へてしまいました。以前には私共は

夕飯の時に皆集まる事が出來ました、のみならず家族も加はる事が出來ました。處が今や團體員が四五十人になつてゐるので一軒の家に皆集まる事は出來ません。從つてさう度々は出來ませんから一年に一度或ひは二度位ひの集りをするやうになり、その上家族は仲間に選入る事が出來なくなりました。私共の毎日の仕事も今は色々と數多くなりました。從つてより多くの敎室へも行くやうになります、範圍も廣くなり、プログラムも複雜となつて來ました。その結果同僚と雖も數週間顏を合せぬ事もあります。以前には敎授達の毎週の會合は全く正式ではなく、大抵は訪問になつてゐました。婦人の多くは編物でも持て行くと云ふやうな狀態でありました。處が今は全く機械的になつて集會には議長を要し議員制を行ふやうになつて了いました。以前は敎師が學校に不在であるやうな事は無いのでありました、殊に朝の運動に缺席する事などはないのでした。處が今はその朝の運動に出席する事が例外となりました。そして重要な通信は新聞紙を通して知るやうになりました。其れ故吾々の團體は大きくはなり

ましたが、親密に交際する機會は減つて了いました。其結果自分の同僚の名さへ呼ぶような機會がない、一言で云へば、一學校に奉職する我々敎師は最早第一次的團體ではないのです。そして、その理由は敎師の數が殖えたからです。』と。

『市内の運搬及び交通の方法は、例へば電車、自動車及び電話は密かにそして速かに現代の都市の社會的及び産業的の組織を變へて了つた。産業組織及び人口の分配の變化は都市の人々の習慣、情緒及び性質を變化させた。

『之等の變化は何を示すかと云ふと、都市の成長は、市民の個人々々の親密と云ふ第次一的の關係が稀薄になつて其の代りに間接、即ち第二次的の關係が生れると云ふことである。

『直接の接觸、直接の見聞が第一のそして最も要素的な關係の基礎となる。母と子供夫と妻、父と子、雇主と雇人、親戚と近所の人、傳道師、醫者、及び敎師、之等の關係は人生に於ける最も親密なそして實際の關係であつて、小さな社會に於ては其れ等

の關係が實際に成立つて居る。

『さう云ふ風に造られた社會の人々の中に起る相互作用は直接で深い考への結果ではない。交際は本能と感情の中に多く行はれるのである。社會制裁は大抵の場合人格的感化力と公衆的感情に直接の答へとなつて現れる。そして、それは合理的な抽象的な原則よりは寧ろ人がお互ひに相容れ合ふ事の結果である。

『大都會に於て、人口は動搖し、親と子は別な場所でしかも遠く離れた處で働いて居つて、そして何千の人間は數年間並んで生活をして居ても殆ど朝夕の挨拶もしない、こう云ふ都市に於ては第一次的の親密な關係は薄らぎ、團體に基礎を置いてゐる道德上の秩序は自然と破壞されて了ふ。都の生活のこの人々を分離させて行く傾向の下には我々の因習的制度の大抵、例へは敎會、學校、家庭などと云ふものは大なる變化を受けなければならない。例へば學校は家庭の作用の幾分かを引受けてゐる。そして、その結果、新しい近所又は社會精神と云つたやうなものが今新たに自然に組織されよ

うとしてゐる。そして。これは學校を中心として兒童の德育及び體育に貢献しようとするものである。

「又、人生の解釋に於て印刷物が大部分敎壇の代りになつて以來敎會は其の勢力の多くを失なつて了つた。故に、敎會はどうしてもこの新しい狀態に添ふやうに改造されねばなるまい。」とパーク敎授は『都會人の態度』と云ふ著作のうちに云つて居ます。

編輯の後

『眞土の旅の一里塚』に又到着致しました。早いこと〱またゝく間に一年が過ぎたような氣がしなす。所用で一寸表通りへ出て見ますと歳末氣分と斷水氣分とがこんがらかつてゐます。歳末賣出しの飾り付けに働く仕事師、給水に立ち働く人々が入りまじつて、平生見なれない水桶があちこちにころがつてゐます。忙しいこと〱。

天災とは云ひながら、東京全市に水が無くなるとは！　水を全く斷たれた都！　これは文明的生活の脅威とでも申ませうか。出ないのを知りつゝツイ、うツかりと水道口に手をかけて、そして、乾き果てた水口を見直して、更に不安を新しくしたのは、恐らく私計りではなかつたでせう。

けれども此の苦い經驗によつて、文明的生活者なる私共は、決して、單獨に生きてゐるものではなく陰に陽に、皆一樣につながれて生きて居るものと云ふ共同的精神の敎訓を受けるならば、禍が却つて幸福になると思ひます。

牛の歩みの、よしのろくとも少しづゝ〱人々が共同的生活の方向に進みつゝあることを希望し。又、其の希望は必ず實現するものであることを私は信じます。

皆様が平和な新年をお迎へになることを祈ます。

謹賀新年

大正十一年一月元旦

山田嘉吉
山田わか

謹賀新年

大正十一年一月元旦

雑誌
書籍
新聞
官報廣告

東京堂
東京神田區表神保町三

北隆館
東京京橋區元數寄屋町三ノ七

上田屋
東京神田區裏神保町一

本誌定價表

一冊	六冊	十二冊
金二十五錢	前金 金壹圓四十錢	前金 金貳圓七十錢
送料五厘	（送料共）	（送料共）

■誌代及郵税は前金の事■御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと■郵券代用は五厘切手にて一割増■廣告は御照會次第御相談いたします

大正十年十二月二十三日印刷納本
大正十一年一月一日發行

東京四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人 山田嘉吉

東京神田區仲猿樂町十七
印刷人 大杉直次郎

東京四谷區南伊賀町四一
發行所 婦人と新社會社
振替東京五三六八八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

再版

瀬戸義直譯
（フィールデング著）
（飜譯權所有）

性の社會學考察

四六判三五〇頁洋布裝函入
定價金二圓三十錢送料十二錢

性の問題を政府、軍隊、産業、學校、兩親、夫婦、産兒等のあらゆる方面から觀察して、この問題が如何に我々の家庭生活や國民生活に重大な關係を持つて居るかを、誰にも解り易く、公正に、合理的に書いたものであります。病的な、世人の好奇心を喰物にするやうな書物を避けて、かういふ良書から正しい知識を受容れることは我々の社會生活を健全にする基であります。「婦人と新社會」の讀者方は必ずこの書に多大の滿足を見出されることゝ思ひます。

發行所

東京市神田區
中猿樂町一七

近代文明社

振替口座東京
五八五八六番

Digitized by Google

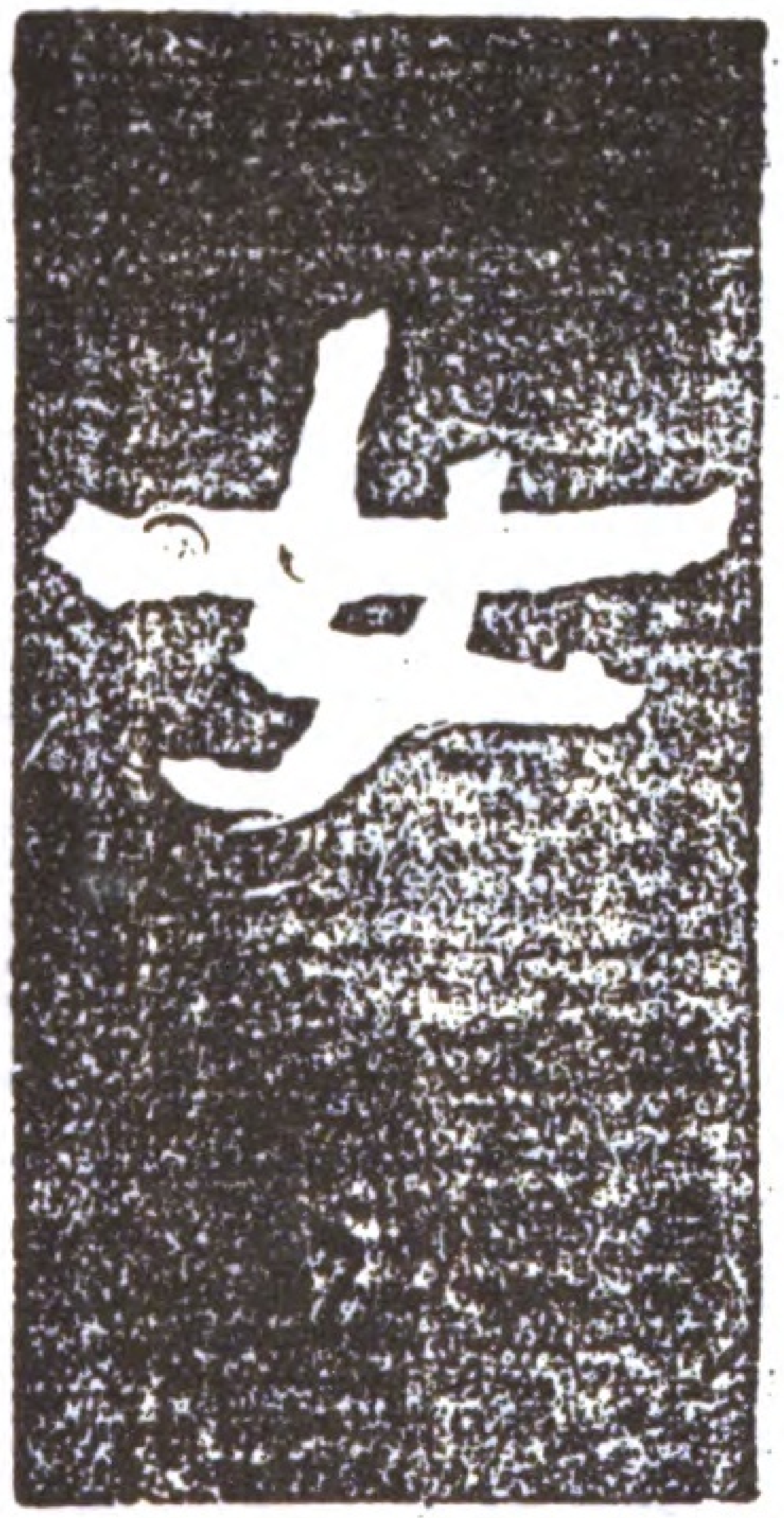
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新刊發賣

女の赤裸々なたましひの正體を最も大膽に描破して歐洲の讀書界を震駭せしめ、本國の佛蘭西では羽が生えて飛ぶやうに賣れ、到る處で講演會が開かれ今や爭ふて各國語に飜譯されつゝある現代無二の書は實に本著である。吾人は此の書によつて始めて力強い時代の精神と女性にまつわる一切の情實をサラリ投げ捨てて眞裸體になつた新しい女の代表的な姿を有りのまゝに見ることが出來る。

既成文學を超越したる空前の名著

マグダレン マルクス著
山田わか女史譯



四六版四百七十餘頁
總洋布美裝天金函入

實費貳圓八十錢
送料拾五錢

先づ此の熱狂的賞讃の聲を聽けよ

◎イサドラ・ダンキヤン曰く　偉大なる無二の書物である。此の小說に對する一般の一致した判決は「文學界に於ける新らしいかたち、根本的に獨創、感情に於ては高尙であつて、そして、全體が詩である」と。

◎ステファン・ツバイク曰く　驚くべきことは、斯ういふ作がどうして出來たかと云ふことである。此の作中の婦人の人間としてのかたちの裏面に女性の全體と女たるの永遠の運命を明かに見ることが出來る。

◎ロマン・ローラン曰く　偉大なる才能、實に氣力盛んなる作である。

◎ベルトランド・ラッセル曰く　驚くべき天分、驚嘆すべき能力よ。

◎ビクター・マーガリット曰く　一大人格を絶對に肯定する立派な作である。

◎ジヨージ・ブランデス曰く　獨創の的な極めて大膽な作である。

◎有名な評家スタインレン曰く　此の小說はライフであり美である。

東京市麴町區平河町六の壹　**耕文堂**　振替口座東京三四六七番

プラトン萬年筆

技巧が良い…体裁が良い…持ちが良い…何よりも其のペン先が良い

何時までも削らずに書ける尖頁

特許の萬年鉛筆

プラトンシャープ鉛筆

一圓以上
數十圓迄



日本文具製造株式會社製造

中山太陽堂文具部發賣


謹賀新年
本年は倍舊一層の御贔屓下さる樣偏に御願ひ致します、と同時に左に新年早々の催しを申上げます
◆新年賣出し（一月四日より）
◆山田敬中氏作品展覽會（同）
◆定休日一月一日、二日、三日◆十日◆二十五日◆
東京
三越吳服店